

【鳴門市行政評価】

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	旧鳥居記念博物館改修事業			担当部署	企画総務部部 戰略企画課					
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市地域防災計画					
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			事業期間	開始 平成 24 年度	終期 ~平成27年度			
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なると								
(小項目)	危機管理・防災									
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進								
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備								

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理					
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	旧博物館が耐震改修され、地域住民等が利用できる状態					
事業計画	26年度に何を計画していたか	耐震改修工事の着工及び再開後の利用について検討を行う。					
成果目標	事業目標の達成度合	指標名		25年度	26年度	27年度	28年度
		旧鳥居記念博物館耐震改修工事		実施設計完成	工事発注	竣工	29年度 単位

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	耐震改修工事の建築工事・管工事・電気工事の契約を行い、耐震改修工事に着工した。また、当該土地で、民有地の土地を取得した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
		指標名 25年度実績 26年度実績 27年度目標 28年度目標 29年度目標 単位					
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 地元説明会等の開催回数	2 8 9					
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	旧鳥居記念博物館耐震改修工事	実施設計完成 工事着工 工事完成・竣工					
	目標達成率(実績/目標)	%					
今年度の進捗状況		未達成		事業全体の進捗状況		計画どおり	

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成26年度	当初予算額	0	0	187,000	0	17,059	204,059
		全体予算額	0	2,500	196,300	0	65,184	263,984
		決算額	0	0	81,300	0	50,691	131,991
		繰越額	0	2,500	115,000	0	14,470	131,970
	人件費	正規職員(6,878千円/人) 臨時職員(2,023千円/人)			総人件費		総事業費	
		0.2			0.0		1,376	
							133,367	

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：旧鳥居記念博物館改修事業】

事業費推移	年 度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	4,757	131,991	0	-	-
	うち一般財源	4,757	131,991	0	-	-
	人件費	0	1,376	1,376	-	-
	総事業費	4,757	133,367	1,376	-	-

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		耐震改修工事に伴い、事業用地の購入や耐震改修に伴う工事は、着工できた。
	効率性	B:概ね効率的だった		改修工事は、予定通り着工でき、供用開始後の利用等についても、地元への説明も行った。
②成果に対する評価	指標名	旧鳥居記念博物館耐震改修工事		耐震改修工事は、着工できたが、建築業者の廃業で、工期が延期になったが、その後は、順調に進んでいる。
	目標	工事発注	0	
	実績	工事着工	0	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		平成27年度の供用開始を目指し、工事等は予定通り進んでいる。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	平成27年度に耐震改修工事が完成するためにも、工事の進捗状況を適切に管理を行うことと、供用開始後の利用方法について、地元と協議が必要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	耐震改修工事を竣工する。防災施設として、資機材等の整備を行う。平常時の利活用について検討する。			
	H28年度	平常時の利活用の促進を図る。			